

アニマルセラピーの現場再現 (動物介在教育)

Animal Therapy Demonstration

柴内 裕子 公益社団法人日本動物病院福祉協会 顧問 赤坂動物病院 院長
Hiroko SHIBANAI Advisor, Japanese Animal Hospital Association (JAHA) Director, Akasaka Animal Hospital



只今から
(公益社団法人)日本動物病院福祉協会の
人と動物のふれあい活動
(Companion Animal Partnership Program)
CAPP活動による
動物介在活動/動物介在療法/動物介在教育
AAA AAT AAE
のデモンストレーションを行います。
CAPPボランティア(ハンドラー)と
セラピー犬です




人と動物とのふれあい活動は
世界共通のヒューマンアニマルボンド
=HABの理念に基づいて
実践されています

人と動物の相互作用
から生まれる効果を
人と動物の福祉と
健康と教育に生かす
活動です



JAHA CAPP
動物介在活動
Animal Assisted Activity
AAA
活動動物は全て一般家庭の家族として健康
で幸せに暮らしている動物たちです
本日の高齢者はCAPPボランティアの皆さん
です
高齢者施設の場面です



動物介在活動 (AAA)

- 動物たちとの触れ合い活動
- 正しいしつけと健康管理をされた動物たちとふれあうことによって、生活の質を高め、ポジティブな生活への動機づけ、きっかけづくりとなる



5

作業療法・理学療法のプログラム

- ブラッシング
- スカーフ結び
- ボール(お手玉投げ)
- フラフープ飛び
- 散歩

本日のプログラム

AATは医療の専門家によってプログラムから結果の判定まで全てが行われる



10



7

近年AATを活用している医療現場

- 慢性疾患、精神科、リハビリテーション、高齢疾患、小児科、腫瘍性疾患、ホスピス等に



11

JAHA CAPP 動物介在療法 Animal Assisted Therapy AAT

人の治療を目的に適性のある動物を介在させます

作業療法士 福田美穂 信愛病院

理学療法士 三上彩子 信愛病院

本日の患者さんはCAPPボランティアの皆さん



11

ブラッシング



12

動物介在療法 (AAT)

- AATは人の治療(医療)に動物を介在させる補助療法の一つ
- 医療従事者(医師・療法士等)がその患者様の治療を目的にプログラムを作り、それに適した動物を介在させて行う治療で、経過を記録し、効果の判定までを行う



13

スカーフ結び



13

お手玉投げ



14

動物介在教育 (AAE) (ヒューマンアニマルボンド教育)

- 子供たちが、この時期に自然や動物とふれあい、優しさや思いやりの心を直感し、体得することは、ヒューマンな脳の発達に、温かい感受性豊かな人間形成に大切な役割を果たします。



フラフープ



15



16

散歩



18

分かってあげよう犬のこと 近くではいけないこと

1. 急に触らない
2. 大きな声を出さない
3. 急に走らない

• 何故？



20

動物介在教育 Animal Assisted Education AAE



17

さわってもいいですか？



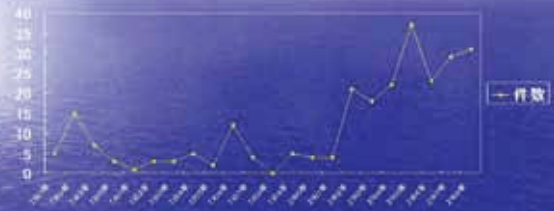
21

触ってはいけないときは？

- 食事中
- 睡眠中
- オモチャを齧っている時
- 子犬を抱いている時
- 飼い主に抱かれている時
- お店(コンビニ等)の前に繋がれている時
- 働いている時
- 車の窓からのぞいている時
- 垣根の中にいる時



公益社団法人 日本動物病院福祉協会の CAPP活動で行われた AAE(主に小学校への訪問活動)



- 活動の大半が単発的であったが、近年その内容が重視され、継続的申し出が多くなっている



28

ひとり歩きの犬に出会ったら (飼い主のいない犬に)

動物を患者にしないために
木になろう



23

今注目される 「アニマルセラピー」 メディアの造語

動物介在活動 動物介在療法 動物介在教育

AAA

AAT

AAE



- この3つは明確に分けられている

27



文字離れ、読解力を養う

24

活動動物

- 一般活動
 - 年一回の健康診断
 - 行動学的診断
- 医療施設
 - 年二回の健康診断
 - 年二回の腸内細菌検査
 - 年二回の口腔内細菌検査
 - 行動学的検査



- 前日にシャンプー、歯ブラシ等全身のケア



26

READプログラムは

- 教育の専門家(教師)とプログラムを作成
- 現場の進行と記録と結果を検討する



25

動物介在活動/療法/教育は 世界共通の基準で行う (JAHA CAPP活動マニュアル)

- 参加動物は一般家庭の飼い主と家族としての動物たち

適性

- 人が大好き
- 適性のない動物にはストレスを与えることになる
- ストレスのある動物では相手に良い影響は与えることは出来ない



29

活動に行く前に

- * 活動前のケアー
(前日または当日の朝)
 - ・シャンプー、ブラッシング
 - ・爪きり(やすりかけ)
 - ・耳、歯、肛門、指間のケア
- * 動物の状態の最終確認
 - ・元気、食欲など



30

CAPP活動の実績

- ・1986年～2009年3月
- ・全国活動回数 10,300回
- ・事故 0 アレルギー
- ・全国110チームが共通の基準を守り、参加動物の育成とボランティアの養成をしながら、活動を進めている



34

活動にあたって

- 訪問現場でリーダーがリチェックする(心、体)
- 飼い主(ハンドラー)は全身を刺激のない消毒液で清拭する
- 活動中のストレスサインを読む
- 終了後のミーティングが大切



31

皆さんありがとう 世界に誇るCAPP活動の実績

JAHAのCAPP活動は、1986年にスタート以来、お陰様で23年間事故もアレルギーもなく、10200回の活動が行われました。これは全国のボランティアの皆様、そして良いこに育った家族としての犬、猫さんたちの大きな御協力のお陰です。これからも心引き締めて温かい家庭・安全な社会造りに努力しましょう。

動物介在活動/AAA動物介在療法AAT/動物介在教育AAE
適性があればどなたでも参加できます
協会にご連絡下さい

JAHA CAPP活動

公益社団法人 日本動物病院福祉協会
電話 03-3235-3281
FAX 03-3235-3277
E-mail capp@jaha.or.jp



35

しつけは陽性強化法

- 自発的に行う良い行動を褒めて、褒めて身につける
- 十分に社会化が出来ている



32



CAPP活動は

- 1987年に目的を同じくする全国の動物病院が正会員となって、発足した現公益社団法人日本動物病院福祉協会の医学と獣医学を通じて社会に貢献するボランティア活動
- CAPP活動は1986年にスタート
- 世界共通のヒューマン・アニマル・ボンド(人と動物の絆)の理念と基準
- 動物介在活動(AAA)、動物介在療法(AAT)動物介在教育(AAE)



33

